

コード No. 18665

**Anti-Human
NF- κ B p65 (N) Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 100 μ g

はじめに : 1986 年に免疫グロブリン κ 軽鎖遺伝子が成熟 B 細胞特異的に発現するために必要なエンハンサー領域に結合する転写因子が同定され、Nuclear factor κ B (NF- κ B : エンハンサー中の B 領域に結合する因子) と名付けられました。その後、NF- κ B は、p50 と p65 のヘテロ 2 量体であることが明らかにされ、さらに、それぞれ、cDNA クローニングより c-Rel (脾臓に腫瘍を誘発するトリレトロウイルス (reticuloendotheliosis virus strain T) の発癌遺伝子タンパク) と高い相同性を有することが明らかにされ、現在では Rel ファミリータンパク質に分類されています。

シグナル伝達系において、NF- κ B は細胞質内で I κ B と複合体を形成し、不活性化されています。NF- κ B は多くの細胞に分布している転写因子であり、種々の刺激に伴い I κ B が分解されることにより、核に移行し種々の遺伝子発現を制御すると考えられています。

免疫抗原 : Human NF- κ B p65 protein の N 端部分合成ペプチド (MDELFLIFPAEPAQAS)

精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製

免疫動物 : ウサギ

包装形態 : 1% BSA, 0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 ml に溶解したものを凍結乾燥

再生方法 : 蒸留水 1.0 ml 添加

保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
: 溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定

使用目的及び使用方法 : 免疫組織染色 5 μ g/ml にて使用可能
(ホルマリン固定・パラフィン包埋切片, マイクロウェーブ処理が必要 (10mM クエン酸緩衝液 pH6.0))
: ウェスタン・ブロッティング 1~5 μ g/ml にて使用可能

特異性 : Human KG-1 Cell Line および Human Raji Cell Line にて確認